

台風シーズン到来! 今からはじめよう!

災害の備え「やっておくべきこと」リスト

もしものときのために、日頃の準備と早めの行動をとる必要があります。
大きな災害が起こる前に、日常のタイミングで対策しておくことが大事です。

1 警戒レベルを正しく理解しよう



- 命の危険
直ちに安全確保**
- 危険な場所から
全員避難!**
- 高齢者は
危険な場所から避難!**
- 洪水注意報・大雨注意報
自らの避難行動を考える**
- 災害への心構えを高める**

緊急度
↑
高

とるべき行動

避難に備えて作っておこう!「マイタイムライン」

(マイタイムラインの例)

- 避難完了**
状況を親せきや知人に連絡する
- 小学校に避難する(全員)
※避難経路の状況によっては早めに家を出る
- 親せきや知人に
自分たちの避難先を伝えておく(お父さん)
家の戸締りを確認する(お父さん)
- おじいちゃんの**常備薬**を確認する(お母さん)
家族の携帯電話を**充電しておく**(お兄ちゃん)
- 非常用持ち出し袋**を再確認しておく(お母さん)

マイタイムラインとは
災害に備えて、ご自身が家族や生活の状況に合わせた逃げ方を考えておくものです。いつどのタイミングで誰が何をするのか考えておきましょう。



2 家の周囲、内部を点検・対策しよう

- 家の周囲に不良箇所がないか確認し、必要に応じて修理する
 - ・雨どいの破損、詰まり
 - ・雨水ますの点検、清掃など
- 鉢植えや物干し竿など飛散の危険がある物を室内に移す
- ガラス窓や扉には飛散防止フィルムやガムテープを貼る
- 家の浸水を防ぐ
 - ・土のうを準備する
 - ・土のうが無い場合は、ごみ袋やプランター、ポリタンク、レジャーシートなどの身近なものを利用する
 - (例)ごみ袋で簡易水のうを作り、玄関等の前に隙間なく詰めると、浸水を軽減できる
- 家財を2階などの高い所へ移動する
 - ・重要書類、家電製品、数日分の衣類を高い所に移動する



3 避難場所を考えておこう

災害から命を守るために、みなさんの置かれた状況に応じて、あらかじめ避難方法を検討しておきましょう。

例)水害の場合

浸水する可能性がない場所や、安全な階にお住まいの場合は		安全な場所に住んでいて、身を寄せられる家族や親せき・知人がいる場合は	
いる	いない	いる	いない
▼	▼	▼	▼
自宅にとどまる (在宅避難)	家族や親せき・ 知人宅へ避難 (分散避難)	避難所へ避難	※避難所が開設しているか必ずホームページ等で確認のうえ避難してください。

避難所へ行くことだけが避難ではありません!!

4 「大阪市防災アプリ」をダウンロードしよう

リニューアルにより使いやすくなった「大阪市防災アプリ」をダウンロードしておけば、いざという時、より安全な避難が可能です。

主なリニューアル点

ひと目でわかる
防災シグナル

情報が発令されるとトップ画面でお知らせ



オフラインでも
使える防災マップ

開設している
避難所や行き方のルート
がわかる



日ごろから使える
雨雲レーダー

15時間先までの降水強度分布予測
がわかる



みんなが使いやすい
多言語対応

英語、中国語ほか
「やさしい日本語」にも対応



▲入手は
こちらから!

5 防災に関する出前講座を受講しよう

鶴見区役所では、ご要望に基づいて防災に関する出前講座を行っています。

★少人数でも開催できます

★休日や夜間にも開催できます

★ご希望に沿った内容で開催します

このほか、自主防災組織や災害マニュアル作成などのお手伝いもしますので、お気軽にお問い合わせください。

ご依頼はこちら

06-6915-9846



6 最低限必要な持ち出し品を決めておこう

自分にあったものを
事前に準備しておきましょう



詳しくは
こちら

チェックリスト

- 食料品(飲料水・非常食)
- 日用品(ラジオ・懐中電灯等)
- 雨具・衣類
- 緊急医薬品(常備薬も忘れずに)
- 貴重品(通帳・現金・マイナンバーカード等)
- その他

- ・口腔ケア用品(歯みがきセット等)
- ・予備電池・携帯充電器
- ・ペン・ノート
- ・子どもがいる家庭の備え
- ・女性の備え
- ・高齢者がいる家庭の備え